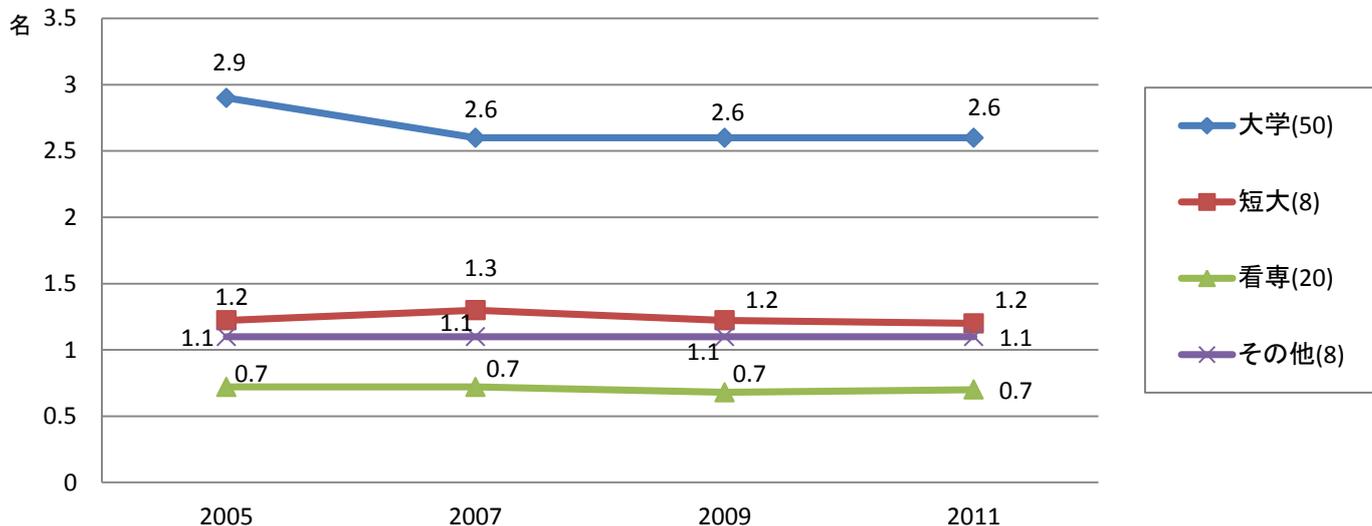


*** グラフでみる実態調査 ***

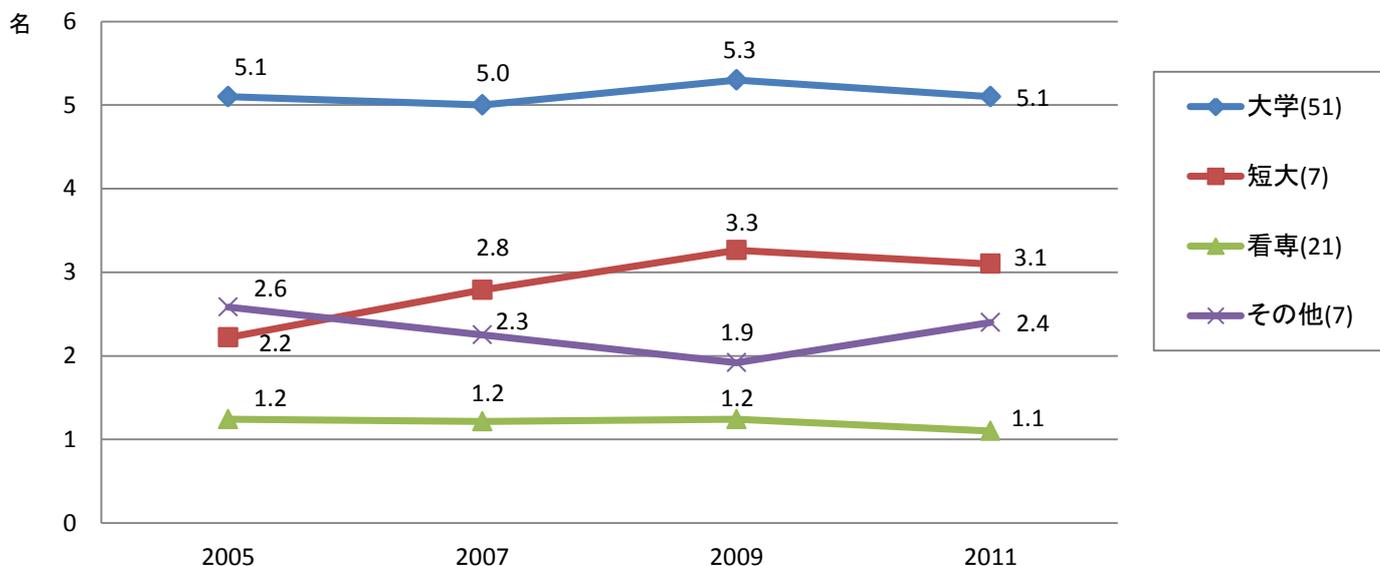
専任

有効回答数 86館



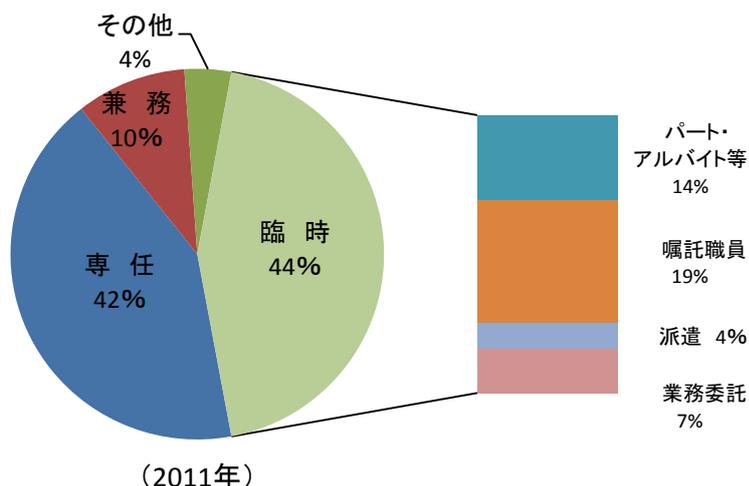
専任+臨時+兼任+その他

有効回答数 86館



職員数（全体）の比率

有効回答数 128館



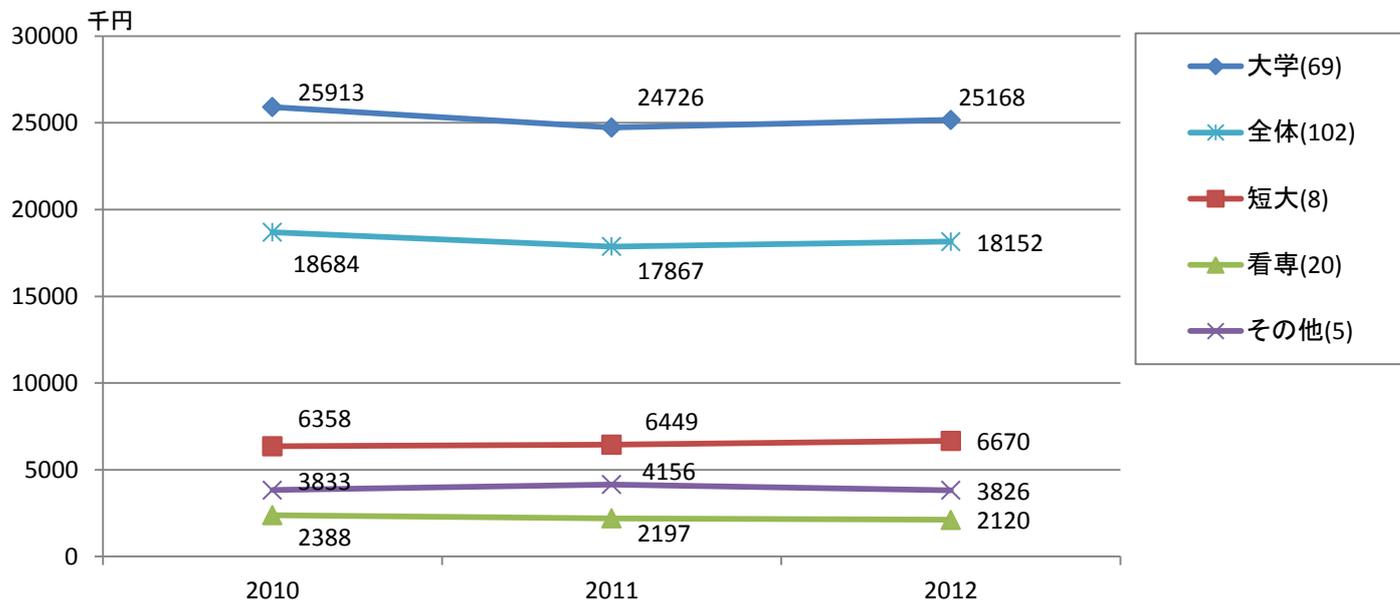
*専任職員数は、全般的に'07年より変化なく推移している。

*職員数の全体数は、'05年から減少傾向にあった看護協会・病院図書室が増加し、それ以外の機関では減少している。

*職員数(全体)での雇用比率をみると専任職員42%に対し、兼務職員・臨時職員・その他が全体の58%を占めている。

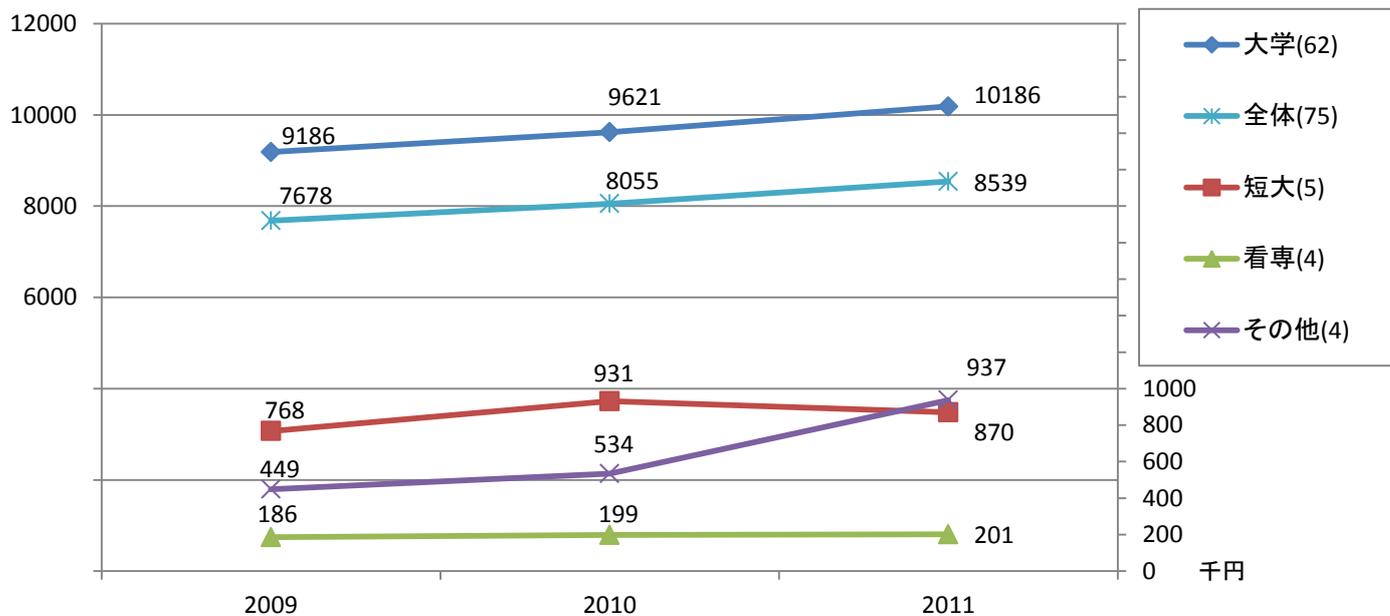
年間資料購入費（平均）の推移

有効回答数 102館



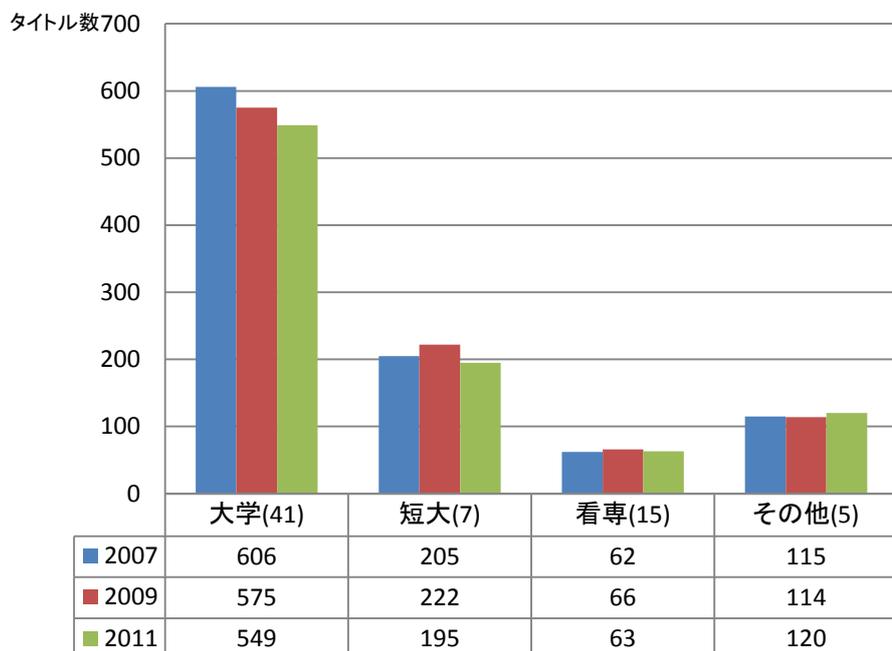
電子情報資源購入費（平均）の推移

有効回答数 75館



受入雑誌タイトル数の隔年比較

有効回答数 68館

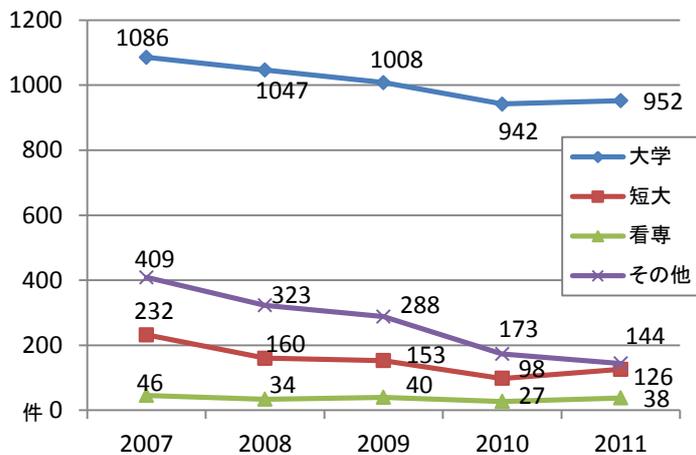


* 大学、看護専門学校では受入雑誌タイトル数が減少して、電子情報資源購入費(EJ/DB等)は増加している。

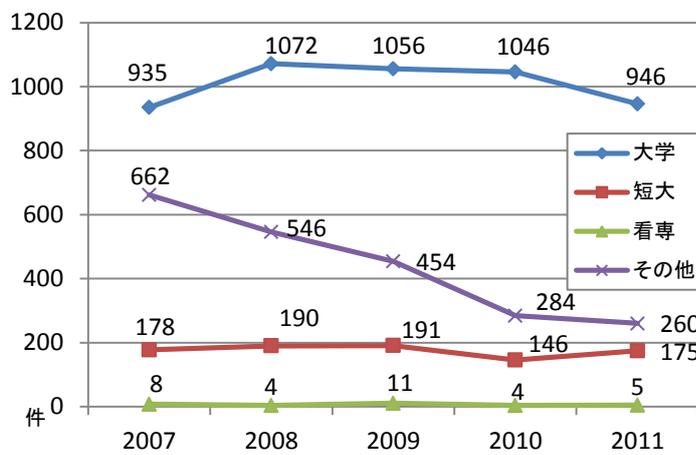
* 特に看護協会・病院図書室の電子情報資源購入費は一昨年から約2倍増加している。

相互貸借

複写依頼（平均）



複写受付（平均）



有効回答数

	2007	2008	2009	2010	2011
大学	58	67	75	75	76
短大	10	9	10	10	10
看専	24	28	27	27	27
その他	6	6	6	8	7

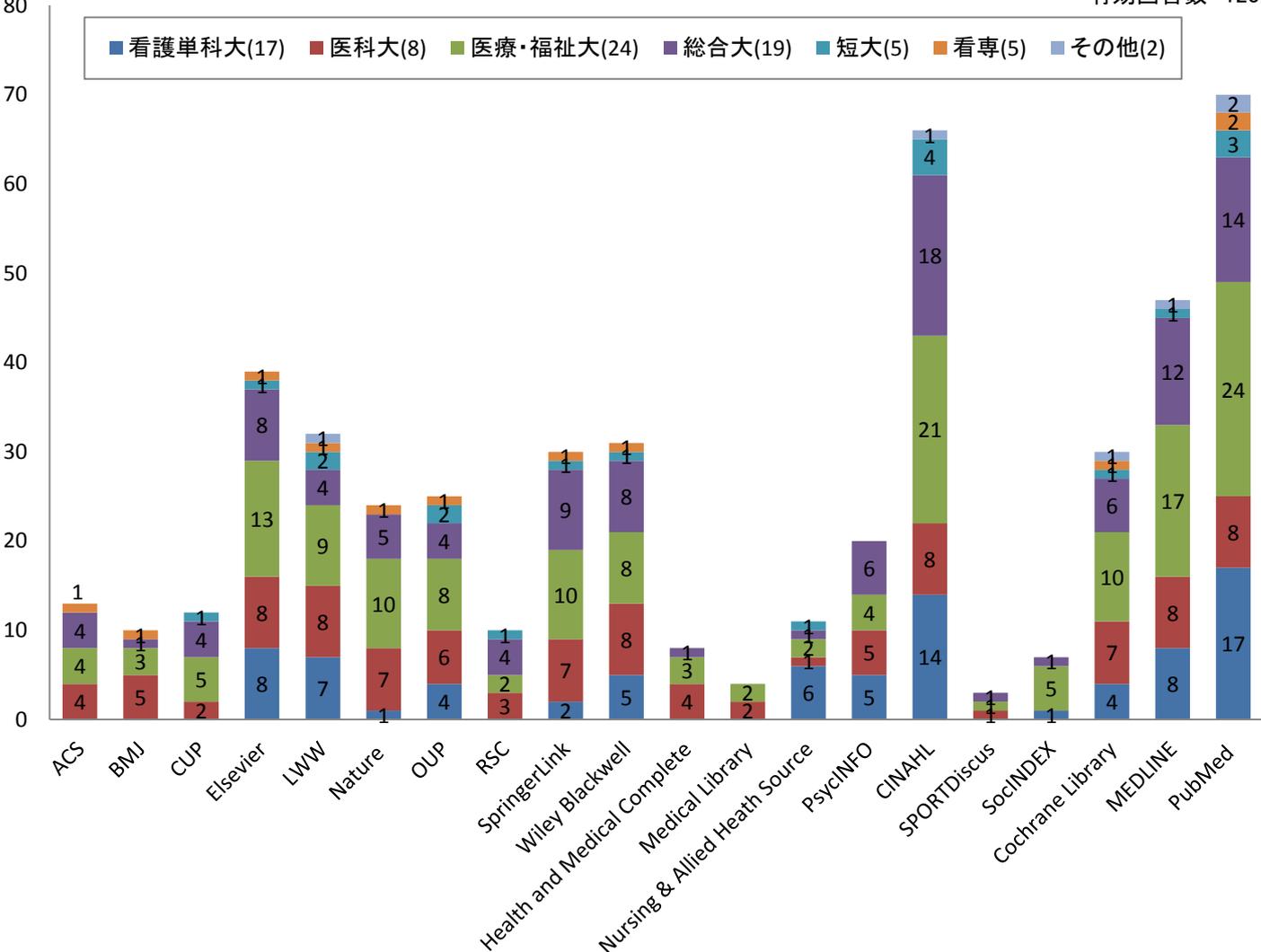
*全体的にみると5年前から複写依頼・受付とも減少傾向にある。

電子ジャーナル・データベース導入状況

電子ジャーナルの導入は、全体の63%にあたる80館(大学68館、短大5館、看専5館、その他2館)であった。

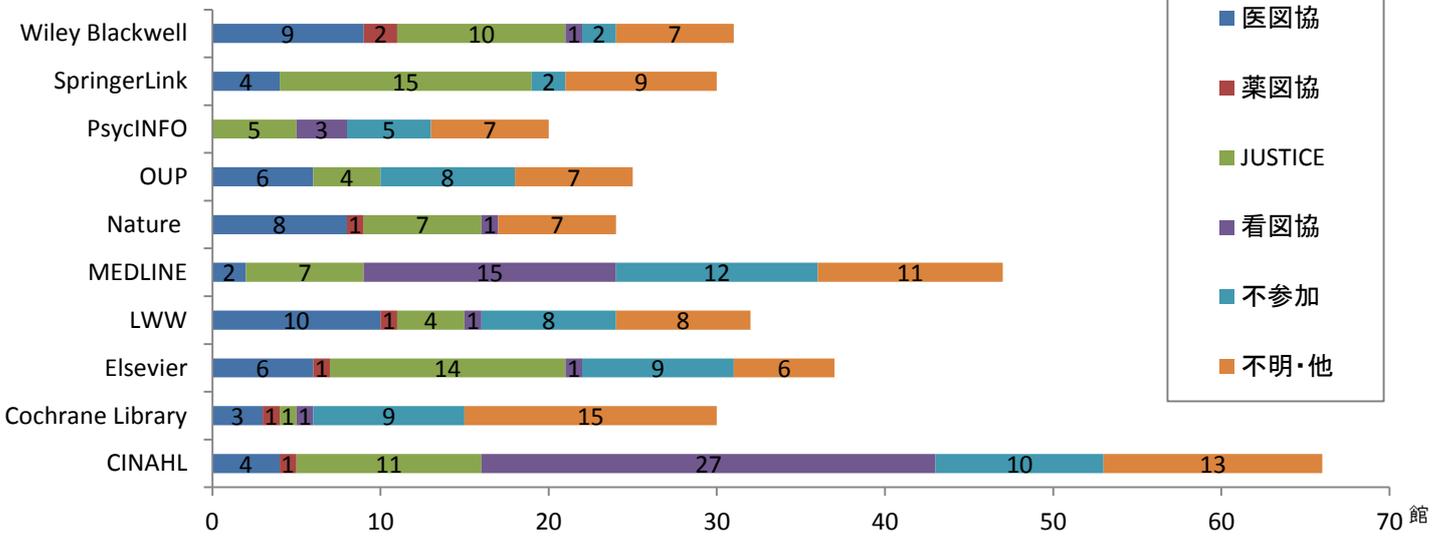
館 (海外)

有効回答数 123館



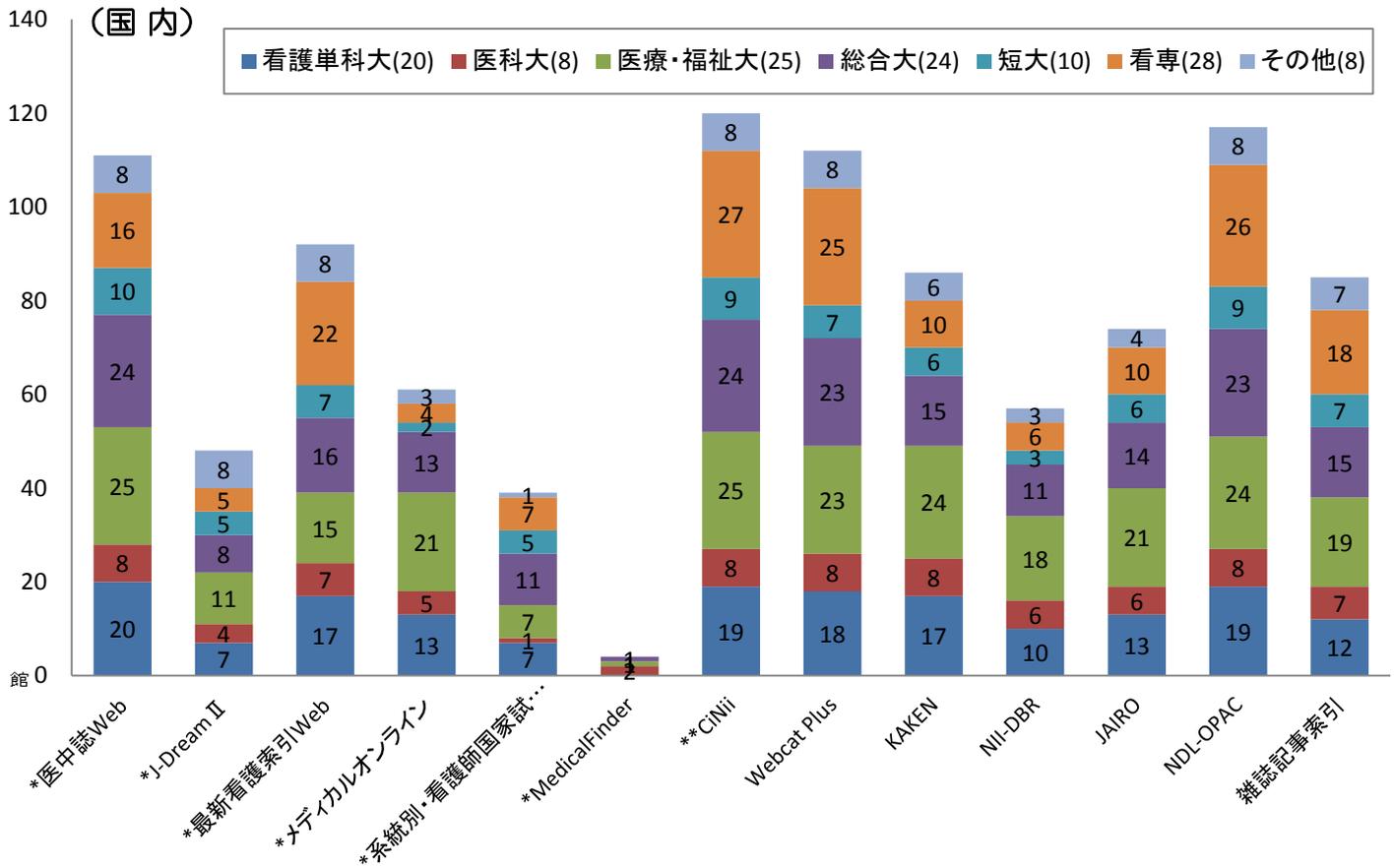
*PubMed、CIHAHLは全体で利用されている。MEDLINE、Elsevier、LWWは大学全般で、SpringerLink、WileyBlackwell、Cochrane Libraryは医科大、医療・福祉大、総合大での利用が高い。看護単科大ではNursing & Allied Health Source (ProQuest) の利用がみられた。

＊海外EJ/DBコンソーシアム参加状況＊



＊海外EJ/DB(上位10種)のコンソーシアム参加状況である。Wiley Blackwell、SpringerLink、OUP、Elsevierは、コンソーシアム参加によりパッケージ契約となり、不参加館の電子ジャーナル個々の単位での契約と比較し、タイトル数が大きく上回っていた。

有効回答数 128館



＊最新看護索引Webの導入館が、昨年の57館から92館に増加した。医中誌Webは看専の一部を除く全館で利用されている。メディカルオンラインは医療・福祉大での利用が多い。

＊その他＊

- ・一日平均貸出冊数
設置母体別一日平均貸出冊数は、大学63.5冊、短大59.7冊、看専19.4冊、その他6.3冊となっている。
- ・外部利用者へのサービス
全体の98%にあたる126館が外部利用者に対して開放している。そのうち単行書貸出可は86館(大学62館、短大7館、看専15館、その他2館)、雑誌貸出可は21館(大学12館、短大2館、看専7館)の機関で行っている。
- ・図書館システム
全体の95%にあたる121館が導入している。内訳は情報館33館、LIMEDIO26館、iLiswave10館、E-Cats6館、CARIN4館、独自開発・その他42館であった。